

ほらほら

幌北

幌北まちづくりセンターだより

NO.54

令和4年(2022年)3月発行
幌北まちづくりセンター
北区北17条西5丁目1-7
TEL: 726-6345
FAX: 726-2765



北区まちづくりキャラクター

「ほっぴい」です!

★幌北まちセン HP の QR コード⇒
ぜひ、アクセスしてみてください!



こんにちは。幌北まちづくりセンターの山越です。昨年7月にまちづくりセンターだより第53号を発行して以来、早いもので8か月経ちました。今年度も皆様に地域活動の情報を提供して参りますので、宜しくお願いいたします。

ところで、このたび北海道が「まん延防止等重点措置区域」の適用が除外されましたが、4月は人の移動や会食の機会が増加など、感染リスクが高まる時期を迎えます。

皆様におかれましては、引き続きマスクの着用、手指消毒、3密を避けるなど基本的な感染防止対策の徹底にご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

それでは、幌北まちづくりセンターのHPに配信した地域のニュースを中心にお知らせします。

「幌北かるた」で遊びながら地域のことを学ぶ

幌北地区に住む児童が遊びながら身近な地域のことを学んでもらうため、「ネオロス幌北(学生と地域で考えるまちづくり会)」が、地元の公園や各種施設、行事などを題材にした「幌北かるた」を製作し、令和3年に幌北小学校と幌北児童会館に寄贈しました。

幌北児童会館では、A4版の大きな「幌北かるた」を使って、児童が体育室いっぱい走り回りながら、かるた遊びを楽しんでいます。取った絵札を見て、「ここに行ったことあるよ!」「知ってる!」など、会話が弾んでいました。



老人週間・敬老の日「ふれあい訪問」



令和3年9月の老人週間・敬老の日に合わせて、各町内会や民生委員など地域の方々と一緒に「ネオロス幌北(学生と地域で考えるまちづくり会)」の学生も協力し、見守りに必要な方のお宅や高齢者施設にお便りと特製の黄色いタオルを届けました。

コロナ禍にあっても、このような取り組みで、幌北地区がふれあいの気持ちを大切にする、お互いに支え合うやさしい街になってほしいと思っています。

赤い羽根共同募金街頭啓発

令和3年10月1日（金）から赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まり、幌北地区では、10月2日（土）、地下鉄北18条駅出入口前で民生委員・児童員協議会と藤女子中学・高等学校の皆さんが街頭募金活動を行い、協力を呼び掛けました。

赤い羽根共同募金は、地域の社会福祉協議会や福祉のまち推進センターが進める住民参加の福祉活動、様々な福祉団体が行う高齢者や障がい者の社会参加の活動や、子どもたちの福祉教育、広報・研修事業に生かされています。



日赤奉仕団幌北分団手縫い雑巾寄贈



令和3年10月14日（木）、日赤奉仕団幌北分団（五十嵐秀子分団長）の皆さんが、手縫いの清掃用雑巾を幌北児童会館、幌北小学校、北辰中学校や幌北まちづくりセンター・幌北会館に寄贈されました。日頃から日赤奉仕団の皆さんの地域への福祉活動やご尽力に対し、感謝申し上げます。

なお、日赤奉仕団では、未使用のタオルの寄付を募集しています。もしございましたら、当まちづくりセンターまでお知らせください。おつながします。

交通安全運動推進委員会表彰状伝達

札幌市交通安全運動推進委員会会長表彰状の伝達式が令和3年11月10日（水）、幌北会館で開催されました。このたびの受賞者は、小田島嘉一様（幌北交通安全実践会）と能登谷裕子様（幌北交通安全母の会）のお二人で、長年の熱心な交通安全活動のご貢献に対して表彰されたもので、幌北連合町内会の小田島義雄会長から表彰状が伝達されました。



高齢者福祉バス事業2年ぶりに再開



令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、中止した高齢者福祉バス事業が、緊急事態宣言も解除され、感染者数が落ち着いてきたこともあり、2年ぶりに再開しました。これは幌北地区社会福祉協議会・福祉のまち推進委員会主催の事業で、幌北地区にお住まいの高齢者の方々を対象に、健康づくりを兼ねて見学・研修・親睦を目的としたものです。令和3年11月9日（火）に行われ、幌北第9町内会と第10町内会の

皆さんなど17名が参加しました。訪問した北海道博物館では、北海道の自然・歴史・文化など貴重な展示物を見学しました。昼食は保養センター駒岡でおいしい食事を頂き、温泉施設に入って疲れた身体を癒やしました。参加者の皆さんは親睦や交流を深め、楽しい一時を過ごしました。

子育てお母さん交通安全講話会

幌北交通安全母の会（三浦美紀子会長）は、毎年、幌北児童会館で子育て中のお母さんのために、交通安全講話会を開催しています。令和3年度は11月16日（火）に行われ、講師に北海道警察札幌方面北警察署の中谷巡査長をお招きし、自転車のルールや事故のことなどの話をいただきました。最後に、母の会メンバーから参加された約10名のお母さん方に夜間、車のドライバーからも目立つ反射材など交通安全グッズを手渡しました。幌北児童会館では毎週、火曜日に子育てサロンを開催しています。気楽にご参加下さい。



祝開館30周年！ほろきたフェスティバル



令和3年に開館30周年を迎えた幌北児童館（北区北17条西6）では、11月27日（土）にお祝いとして「ほろきたフェスティバル」を開催しました。お祭りのテーマは「ひろがれ！ほろきたのわ！」です。

午前と午後の部に分けて開催し、地域の子どもたちをはじめ、保護者の方も含めて約140名の方が来館しました。「スーパーボールすくい」、「進撃のワニたたき」、「お化け屋敷」などのアトラクションがあり、参加した子どもたちは楽しそうに各コーナーを回っていました。

民生委員・児童委員永年勤続表彰

令和4年2月24日（木）、民生委員・児童委員の永年勤続表彰伝達式が幌北会館で行われました。勤続25年表彰：島田眞弓委員、勤続15年表彰：荒木英代元委員、勤続10年表彰：秋篠一男委員、菱山朝子委員の4名の方が、北区保健担当部の伊東部長から表彰状が授与されました。

受賞された皆様、本当におめでとうございます。これからも、幌北地区の福祉向上にご尽力いただきますよう、お願い申し上げます。



札幌市スポーツ推進委員になってみませんか

●スポーツ推進委員とは？

地域の方々にスポーツの楽しさを伝え、だれもがスポーツに親しみやすい環境をつくるために活動している、札幌市から委嘱された非常勤の公務員です。

20歳から68歳までの方で、スポーツ経験がなくても、バリバリスポーツをしていなくても、スポーツが好きで楽しさを広めたいという熱意があれば、誰でも委員になれます！

※報酬 3,600 円/月（交通費相当）

※別途スポーツ推進委員会への会費の納入あり

★詳しくは、札幌市スポーツ推進委員会ホームページをご覧ください。
(<http://www.sapporo-sposhin.jp/>)



●スポーツ推進委員になりたい方、興味がある方は

北区スポーツ推進委員会事務局（北区市民部地域振興課内）電話011-757-2407

または、幌北まちづくりセンター（電話011-726-6345）までご連絡ください。

お待ちしております！

幌北まちづくりセンターからの お知らせ

ご存知でしたか？～まちセンで証明書らくらく受け取り

**まちづくりセンターでは、住民票や戸籍謄本・抄本など
札幌市の証明書を受け取ることができます**

取り扱い証明書	手数料	ご注意
住民票	350円	証明書は、申込日の翌まちセン開所日にご用意できます。 （祝日などがなければ、金曜日申し込みの場合は、次の月曜日にお渡しできます。）
印鑑登録証明書	350円	
戸籍関係の証明（戸籍謄本・抄本など）	450円	

※問い合わせ先 幌北まちづくりセンター
〒001-0017 北区北 17 条西 5 丁目 1-7
電話 726-6345 / FAX 726-2765

